

課題と試験についての採点基準

課題について

【形式】

毎回、授業終了後に以下の課題を WebCT にアップします。

- ・ 自習課題:授業内容についての確認問題
- ・ 課題(宿題):問題文を読み論述する。100点満点で採点します
- * 以上のうち、課題(宿題)のみを成績評価に反映します。

【採点方針】

採点については以下の5点を各20点ずつ累積点で100点満点で採点します。

問題文の趣旨を理解し、適切な回答が示されているか

教科書または授業の内容が理解できているか

単に教科書の言葉・術語を反復するのではなく、自己の言葉で論を展開できているか

上記を踏まえた上で、自己の意見を展開できているか

自己の意見を論理的・説得的に展開できているか?

試験について

【採点方針】「課題について」と同じ

【形式】

大問をひとつ出すのでそれを2000字前後で論述する(採点方針に記した5点が満たされれば字数の多寡は問いません)

指定した教科書・参考書のみ持ち込み可(留学生の日本語辞書持ち込みはこの例外とする。また教科書・参考書への大量の書き込み、ポストイットやノートを貼り付けるといった行為は不正行為とみなす)

教科書 = 『法と国家』 参考書 = 講義での配布物

【期末試験問題】

「国家」についての法学的アプローチと政治学的アプローチの相関はどのようなものか、それぞれの特徴・相違点・共通点・両者の関係について代表的な論者を参照しながら説明してください。また、そうした国家観についての法学的および政治学的アプローチが、国際社会を論じる際にどのような示唆を与え得るのかを論述してください。

【ヒント】

- ・ 「相関」とは、単に共通点・相違点を提示するだけでなく、二つ以上の要素がそれぞれどのような関係にあるのかを説明することを意味します。
- ・ (詳しくは授業でやりますが)、法を政治(秩序)の前提とする考え方、政治(秩序)を法の前提とする考え方、法秩序と政治秩序は同一であるとする考え方などがあります。この問いに回答するためには、そうした所論を整理した上で、自己の意見(自分がどの立場を採るのか)を明確にする必要があります。
- ・ 「国際社会」を論じるためには、「国内社会」と「国際社会」の違いを提示し、その上で国際社会の特徴を論じる必要があります。